

学習到達目標・評価規準・評価方法(2年次)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
論理国語	知識・技能	40 %	実社会で必要となる国語の知識や技能を身に付け、日常的な活動の中で活用させる。	・定期考査(漢字・語彙)・ノート ・小テスト(漢字) ・レポート
	思考・判断・表現	40 %	論理的に考える力を伸ばし、他者と共感し伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深化させたりすることができる。	・定期考査(読解問題・記述問題) ・レポート・ノート・小論文 ・話す活動(内容)
	主体的に取り組む態度	20 %	言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しんで自己を向上させ、言葉を活用して他者や社会と関わることができる。	・定期考査(記述問題、作文) ・レポート・ノート・話す・聞く活動(姿勢)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
文学国語	知識・技能	40 %	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・定期考査(語彙・漢字・文学史) ・小テスト(語彙・漢字・文学史) ・レポート(パフォーマンス課題)
	思考・判断・表現	40 %	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期考査(読解問題・記述問題) ・レポート(パフォーマンス課題)・ノート
	主体的に取り組む態度	20 %	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・定期考査(記述問題)・ノート ・レポート(パフォーマンス課題)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
古典探究	知識・技能	40 %	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・定期考査(文法・単語・漢文訓読・文学史) ・小テスト(文法・単語・漢文訓読) ・レポート
	思考・判断・表現	40 %	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期考査(読解問題・記述問題) ・レポート(パフォーマンス課題) ・ノート
	主体的に取り組む態度	20 %	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・週末課題や長期休暇課題 ・レポート(パフォーマンス課題) ・ノート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
地理探究	知識・技能	40 %	地理的事象や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを効果的に活用することができる。	定期考査、小テスト、白地図ワーク
	思考・判断・表現	40 %	地理的事象の意味や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、それを基に説明したり議論をしたりすることができる。	定期考査、レポート、白地図ワーク
	主体的に取り組む態度	20 %	地理的諸課題について興味・関心を持って主体的に追究し、課題解決にむけて意欲的に取り組むことができる。	レポートや課題などの提出物、発表

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
日本史探究	知識・技能	40 %	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	定期テスト レポート課題
	思考・判断・表現	40 %	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、因果関係などを多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて考察、構想したことを効果的に説明することができる。	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表
	主体的に取り組む態度	20 %	我が国の歴史の展開に関わる事象見通しをもって学習に取り組む課題を追究しようとしている。また、自身の学習について振り返り、調整した上で次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	レポート課題 討論・発表 ワークノート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
世界史探究	知識・技能	40 %	現代世界の地域的特色と世界の歴史の展開に関する理解とともに、調査や諸資料にもとづいてさまざまな情報を調べまとめることができる。	定期考査・研究ノート・授業プリント
	思考・判断・表現	40 %	歴史的事象の意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察するとともに、現代的な諸課題の解決に向けて構想することができる。	定期考査・研究ノート・授業プリント
	主体的に取り組む態度	20 %	歴史的課題と現代の課題を結び付け、興味・関心を持って主体的に追究し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	討論や発表、レポート

学習到達目標・評価規準・評価方法(2年次)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
公共	知識・技能	40 %	考察・選択・判断のための手がかりとなる社会科学の概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	・定期テスト ・準拠ノート ・ワークシート
	思考・判断・表現	40 %	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力、社会参画を視野に入れながら表現・論議する力を養う	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・準拠ノート ・ワークシート
	主体的に取り組む態度	20 %	よりよい社会の実現を求め、社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、人々が協力し合うことの大切さについて自覚を深める。	・討論や発表 ・ワークシート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
数学Ⅱ	知識・技能	40 %	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題
	思考・判断・表現	40 %	数学を活用して事象を論理的に考察することができる。事象の本質やたの事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。	・定期考査 ・課題 ・ノート内容
	主体的に取り組む態度	20 %	数学的な課題について、興味・関心を持って主体的に活動し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	・課題 ・ノート内容 ・授業の取り組み方

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
数学B	知識・技能	40 %	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題
	思考・判断・表現	40 %	数学を活用して事象を論理的に考察することができる。事象の本質やたの事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。	・定期考査 ・課題 ・ノート内容
	主体的に取り組む態度	20 %	数学的な課題について、興味・関心を持って主体的に活動し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	・課題 ・ノート内容 ・授業の取り組み方

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
数学A	知識・技能	40 %	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題
	思考・判断・表現	40 %	数学を活用して事象を論理的に考察することができる。事象の本質やたの事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。	・定期考査 ・課題 ・ノート内容
	主体的に取り組む態度	20 %	数学的な課題について、興味・関心を持って主体的に活動し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	・課題 ・ノート内容 ・授業の取り組み方

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
数学探究α	知識・技能	40 %	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題
	思考・判断・表現	40 %	数学を活用して事象を論理的に考察することができる。事象の本質やたの事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。	・定期考査 ・課題 ・ノート内容
	主体的に取り組む態度	20 %	数学的な課題について、興味・関心を持って主体的に活動し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	・課題 ・ノート内容 ・授業の取り組み方

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
教養数学	知識・技能	40 %	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・確認テスト ・課題
	思考・判断・表現	40 %	数学を活用して事象を論理的に考察することができる。事象の本質やたの事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。	・定期考査 ・課題 ・ノート内容
	主体的に取り組む態度	20 %	数学的な課題について、興味・関心を持って主体的に活動し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	・課題 ・ノート内容 ・授業の取り組み方

学習到達目標・評価規準・評価方法(2年次)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
科学と人間生活	知識・技能	40 %	日常現象における基本的な知識・考え方を身につけ、身近な現象に関する実験を適切に行うことができる。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	身につけた知識を基に、科学に関することを論理的に考えることができる。実験結果から適切に情報を読み取り、グラフ化・言語化をすることができる。	・定期考査 ・小テスト ・観察実験レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	周囲と協力しながら授業に取り組むことができる。自らの疑問点を粘り強く取り組み解決することができる。	・観察実験への取り組み ・観察実験レポート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
物理基礎	知識・技能	40 %	物理現象における基本的な知識・考え方を身につけ、身近な現象に関する実験を適切に行うことができる。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	身につけた知識を基に、物理現象に関することを論理的に考えることができる。実験結果から適切に情報を読み取り、グラフ化・言語化をすることができる。	・定期考査 ・小テスト ・観察実験レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	周囲と協力しながら授業に取り組むことができる。自らの疑問点を粘り強く取り組み解決することができる。	・観察実験への取り組み ・観察実験レポート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
化学	知識・技能	40 %	化学的な基本法則や基礎知識を習得し、身近な観察実験等を安全に行うことができる。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	習得した知識を活用し、簡単な現象の仕組みを説明したり、データをグラフに整理・計算できる。	・定期考査 ・小テスト ・観察実験レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	科学的事象の疑問点を解決するために、観察・実験を粘り強く行うことができる。	・観察実験への取り組み ・観察実験レポート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
生物基礎	知識・技能	40 %	生物の基本的な知識を身につけるとともに、観察・実験を安全に行うことができる。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	生物の基本的な知識に基づいて、仮説を立て、結果をスケッチやグラフで表現し、考察することができる。	・定期考査 ・小テスト ・観察実験レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	生物的な課題について、興味・関心を持って主体的に探究し、課題や疑問点の解決に向けて意欲的に取り組みことができる。	・観察実験への取り組み ・観察実験レポート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
地学基礎	知識・技能	40 %	地学の基本的な知識を身につけるとともに、観察・実験を安全に行うことができる。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	身につけた知識を基に、地学現象に関することを論理的に考えることができる。実験結果から適切に情報を読み取り、グラフ化・言語化をすることができる。	・定期考査 ・小テスト ・観察実験レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	地学的な課題について、興味・関心を持って主体的に探究し、課題や疑問点の解決に向けて意欲的に取り組むことができる。	・観察実験への取り組み ・観察実験レポート

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
体育	知識・技能	40 %	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論を理解するとともに、各運動種目の魅力を味わうための基礎的技能やルールを習得することができる。	・スキルテスト ・ルールテスト
	思考・判断・表現	20 %	運動を実践する中で自己や他者の課題を見つけ、それを伝えたり、課題解決に向けて運動の取り組み方を工夫したりすることができる。	・記述 ・観察
	主体的に取り組む態度	40 %	自他の健康・安全に配慮しながら、主体的に運動に取り組むとともに、運動の円滑な実施のために自己の役割を果たしたり、合意形成に貢献しようとするすることができる。	・観察

学習到達目標・評価規準・評価方法(2年次)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
保健	知識・技能	40 %	個人及び社会生活における健康・安全に関する事項について総合的に理解することができる。	・定期考査
	思考・判断・表現	40 %	グラフやデータ等の資料から必要な情報を読み取ったり、学習したことをもとに課題解決の方法を考え表現することができる。	・定期考査 ・記述
	主体的に取り組む態度	20 %	・自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについて関心を持ち、他者と協力しながら主体的に学習に取り組むことができる。	・生徒観察

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
音楽理論	知識・技能	40 %	○読譜に必要な音楽知識を理解することができる。 ○ピアノ奏法にふさわしい姿勢や手の形、運指を理解し、演奏する技能を身に付けることができる。	・定期考査 ・実技テスト
	思考・判断・表現	40 %	○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら関わりについても考え、学習や練習、演奏等表現を工夫することができる。	・定期考査 ・実技テスト
	主体的に取り組む態度	20 %	○音楽理論やピアノ奏法に関心をもち、主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組むことができる。	・授業態度 ・実技練習の取り組み ・授業中の様子・忘れ物

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
美術概論	知識・技能	40 %	主題にあつ表現方法を創意工夫し、個性を生かし創造的な表現を追求することができる。材料や用具の選択と活用、表現の工夫をすることができる。	・授業作品 ・小テスト ・授業プリント
	思考・判断・表現	40 %	意図に応じた表現をすることができる。計画的に作品を作ることができる。	・授業作品 ・提出物
	主体的に取り組む態度	20 %	作業の計画や手順、集中して作品作りに取り組むことができる。	・作品制作の取り組み方 ・授業作品

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
漢字の書	知識・技能	40 %	書写能力の向上を図り、各単元の表現方法を習得し、表現することができる。	・授業作品 ・小テスト(単元別)
	思考・判断・表現	40 %	知識・技能を踏まえ(用筆法など)、紙面に効果的に表現することができる。書の良さや美しさを感じ、個性豊かに表現したり、工夫することができる。	・授業作品 ・授業プリント ・小テスト
	主体的に取り組む態度	20 %	作品鑑賞、表現する分野において、各自が単元別に関心を持ち、積極的に取り組むことができる。	・授業作品 ・授業プリント ・授業態度(作品制作への取り組み)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
英語コミュニケーションⅡ	知識・技能	40 %	到達目標: 正確に内容を理解し、概要や要点を把握することができる。 評価基準: 語句や文法事項を理解し、本文の内容を正確に理解する技能を身に付けている。	単語テスト・音読などの授業内活動・定期考査
	思考・判断・表現	40 %	到達目標: 読んだり、聞いたりした内容をまとめ、自分の意見を話したり、書いたりできる。 評価基準: 事実と意見を識別でき、概要を捉えた上で、自分の考えを表現できる。	4技能を含む授業内活動・英作文・定期考査
	主体的に取り組む態度	20 %	到達目標: すべての活動に主体的かつ自発的に取り組んでいる。 評価基準: 単語や文法事項の習得、内容把握、概要整理、表現活動に積極的に取り組んでいる。	授業に取り組む姿勢・表現活動・提出物

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
論理・表現Ⅱ	知識・技能	40 %	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。(定期考査・リスニングテスト)
	思考・判断・表現	40 %	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。	身近な話題について書かれた文章を読んで概要を捉えている。(授業内テスト・課題提出)
	主体的に取り組む態度	20 %	外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自主的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	身近な事柄について、聞き手に配慮しながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(出席状況・授業態度)

学習到達目標・評価規準・評価方法(2年次)

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
中国語	知識・技能	40 %	正確に内容を理解し、概要や要点を把握することができる。語句や文法事項を理解し、本文の内容を正確に理解する技能を身に付けている。	単語テスト・音読などの授業内活動・定期考査
	思考・判断・表現	40 %	読んだり、聞いたりした内容をまとめ、自分の意見を話したり、書いたりできる。事実と意見を識別でき、概要を捉えた上で、自分の考えを表現できる。	4技能を含む授業内活動・定期考査
	主体的に取り組む態度	20 %	すべての活動に主体的かつ自発的に取り組んでいる。単語や文法事項の習得、内容把握、概要整理、表現活動に積極的に取り組んでいる。	授業に取り組む姿勢・表現活動

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
情報 I	知識・技能	40 %	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を習得しているとともに、情報社会と人とのかかわりについて理解を深めている。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・実技実習
	主体的に取り組む態度	20 %	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を身に付けている。	・レポート提出 ・実技実習

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
ビジネス基礎	知識・技能	40 %	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。	・定期考査(語句問題、穴埋め問題、計算問題) ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。	・定期考査(記述問題) ・課題分析、発表 ・レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・課題、発表への取り組み(様相観察) ・レポート、問題集等の提出物

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
情報処理	知識・技能	40 %	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・実技実習
	主体的に取り組む態度	20 %	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・レポート提出 ・実技実習

	評価の観点	重み	到達目標・評価規準	評価方法
簿記	知識・技能	40 %	簿記について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。	・定期考査(語句問題、仕訳、各帳票の作成) ・小テスト
	思考・判断・表現	40 %	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応することができる。	・定期考査(記述問題、資料分析) ・レポート
	主体的に取り組む態度	20 %	企業会計に関する法規と基準を適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・課題への取り組み(様相観察) ・レポート、問題集等の提出物